

議会だより

かどがわ

October
2017

10

No.152



かどっぴータクシー出発式

- ・ 29年度補正予算2P
- ・ 28年度決算3P
- ・ 常任委員会所管事務調査7P
- ・ 一般質問 6人が登壇10P
- ・ こんなことが決まりました15P

平成28年度決算

一般会計決算認定 賛成多数

当初予算	75億5500万円
補正	6億6713万2千円
最終予算	82億2213万2千円

歳入	82億4920万円
歳出	80億2002万9千円
差引額	2億2917万1千円

実質収支額は1億8997万円で、黒字決算となりました。実質収支比率4.3%です。

※実質収支額：上記差引金額から翌年度繰越明許費繰越額の財源3920万1千円を差し引いた額

自主財源	35.0% (28億8405万6千円)	前年度32.1%
依存財源	65.0% (53億6514万4千円)	前年度67.9%

自主財源：町税、繰入金、諸収入、繰越金、使用料及び手数料など
依存財源：地方交付税、国・県支出金、町債、地方消費税交付金など

町税や諸収入などの増加により自主財源が増加したことに加え、地方交付税、町債、地方消費税交付金が減額したため、自主財源の占める割合が2.9ポイント増加しました。



28年度実施した事業から、左は門川南スマートインターチェンジ入口、上は改修した海浜総合公園テニスコート

【29年度への主な繰越事業】

かどがわ温泉心の杜空調施設整備、臨時福祉給付金(経済対策分)給付、乙島太陽光発電設備改修、下水路整備、農業用及び林業用施設災害復旧、道路橋梁及び河川災害復旧など

特別会計・水道事業会計決算認定 全員賛成

会計名	歳入決算額	歳出決算額	歳出/歳入
国民健康保険事業	31億6070万3013円	28億8141万3020円	91.2%
後期高齢者医療	4億1594万7632円	4億1379万9058円	99.5%
介護保険事業	15億6315万5533円	14億7891万5301円	94.6%
簡易水道事業	1198万3890円	1064万4165円	88.8%
水道事業 (収益的収入及び支出)	3億190万7583円	2億6167万1579円	86.7%

○ 28年度水道事業会計の剰余金処分

決算の結果、当年度純利益が4023万6004円となり、このうち3000万円を建設改良積立金に、残り1023万6004円を減債積立金に積み立てるもの。(可決：全員賛成)

平成29年 第3回定例会

平成29年第3回定例会は、9月5日から21日までの17日間開かれました。

今議会では、諸般の報告、委員長報告が行われ、任命同意1件、条例改正2件、契約1件、補正予算5件、決算認定6件、剰余金処分1件、発議2件の計18件を一部委員会に付託して慎重に審議し討論、採決を行い、すべて原案どおり可決・承認しました。

一般質問では、9月6日、7日の2日間に6人の議員が登壇し、町政について論戦を行いました。

一般会計 可決 賛成多数

歳入・歳出とも6911万円追加
総額75億4787万1千円

29年度
補正予算

主なもの

【歳入】

国庫支出金	1021万6千円	追加
県支出金	332万6千円	追加
繰入金	4279万5千円	追加
繰越金	997万円	追加
諸収入	280万3千円	追加

【歳出】

包括的支援体制構築事業	753万8千円	追加
道路(スマートIC)案内標識工事等	500万円	追加
新庁舎アクセス道路概略設計	300万円	追加
水道事業特別会計繰出金	464万4千円	追加
介護施設スプリンクラー設置	372万8千円	追加
特用林産物振興総合対策	148万9千円	追加
歩道改修、道路舗装など	500万円	追加
ノロウィルス対策(トイレ洋式化)	99万円	追加

債務負担行為の追加

子育て支援センター指定管理事業
(期間：平成30～34年度)

※債務負担行為：翌年度以降の支出を伴う契約などの行為

特別会計等補正予算

各予算とも全員賛成で可決

会計名	今回補正	総額
国民健康保険事業	1億8499万7千円 追加	31億9297万6千円
後期高齢者医療	716万6千円 追加	4億5292万円
介護保険事業	8813万1千円 追加	17億156万1千円
水道事業(費用)	600万円 追加	3億1560万円

総務財政常任委員会

主な質疑

総務課

問平成17年横領事件の弁済金の返済状況は。

答平成16号警戒対応、スマートインターチェンジ開通式典(休日)などの影響。

税務課

問地区会長会の県外視察研修の参加人数は。

答23人。

問職員のコンプライアンス研修の内容は。

答株式会社インソースに依頼、8月3、4日2日間で職員延べ149人受講。

問昨年の参議院議員選挙時の本町18歳、19歳の投票率は。

答18歳が26・22%、19歳が25・61%。

問自主防災組織への整備補助金の状況は。

答24年度6件、25年度7件、26年度8件、27年度10件、28年度8件。

問職員の残業代が増加しているが。

答台風16号警戒対応、スマートインターチェンジ開通式典(休日)などの影響。

問町民税の増加、法人税の減少、固定資産税の増加要因は。

答住民の所得向上や特別徴収の効果。法人税は設備投資、人件費上昇、整備不具合などによる減少、固定資産税は太陽光発電設備設置に伴う地目変更と新築住宅の増加による。

問町内法人数の状況は。

答前年比法人数9法人減少、特に資本金1千万以下の法人。

財政課

問南町原山の町有地の賃貸契約、地球館の賃貸契約について。

答原山は日向病院と年間120万円の賃貸契約。地球館は28年度、29年度は無償、30年度より年間105万円で契約予定。

問財政調整基金はどの程度を目安にしているのか。

答本町の現状を鑑み、16億円程度を考えている。一般的指針はない。

まちづくり推進課

問ふるさと納税の返礼率について。

答昨年12月から運送費込みで5割程度、実質4割。

問企業誘致の努力は。答県と合同で福岡において説明会などを開催し、本町をPRした。



地球館

問環境整備補助、がんばる地域応援事業の状況は。

答申請団体が減少している。要綱に従い活用してもらうようPRしていく。

委員会の意見

年度末開通した門川南スマートインターチェンジを地域活性化と

交流促進に活用し、市場産業の振興、企業誘致に役立つべき。人の流出を防ぎ、本町独自の施策を掲げ早急に実行すること、更なる財政健全化と住民福祉の向上に努めることを望む。(記 米良 格)



門川南スマートインターチェンジ

文教厚生常任委員会

主な質疑

福祉課

問保育園・幼稚園の園児の充足状況は。

答保育士を確保している園は、園児が定員よりも多い園がある。園児数が定員に足りていない園は、保育士が不足している状況にある。

問子ども医療費についての周知徹底は。

答受給者証を全員に交付している。

問生活支援コーディネーターとは。

答地域で困っている人がいる場合、手助けできる体制。

問認知症カフェモデルの30万円は上限なのか。

答上限はない。毎週1回カフェを実施しているが、必ず一人は要支援1の方をいれる。効果は大きいので、3カ年様子を見て今後広げたい。

町民課

問マイナンバーカードの使い道は。

答確定申告時、職場への提出の際に使っている。

問電算システムの改修が多いが。

答法改正に伴って、システムの変更が必要となってくるため。

問高齢者の健康維持の効果的な取り組みは。

答生活習慣病にならないように、指導すること。



チャレンジ塾

教育総務課

問学力向上支援員との関係は。

答例えば数学の場合、クラスを分けて少人数で指導する。

問共同調理場の屋根の修繕を行っているが、築年数はどのくらいか。

答もうすぐ20年経過する。

問不登校サポーターと関係は。

答教室には、はいれない児童生徒を別室で指導する。

問学校職員のクラブ活動指導による健康面の問題は無いのか。

答現在、県が出勤時刻・退勤時刻を把握しようとしている。

問給食調理師の検便は。

答月2回の検便を実施している。ノロウイルスについては国の基準がだんだん厳しくなっている。

社会教育課

問自治公民館の修繕の条件はあるのか。

答補助率はバリアフリーで3分の2、一般改修では2分の1。

問テニスコートを改修したが、変化は。

答利用者が約3倍に増えた。雨天後利用しやすいとの声がある。

問スポーツ振興くじ助成金の充当先は。

答海浜総合公園テニスコートの改修工事に当てている。



カンムリウミスズメ シンポジウム

委員会の意見

高齢化の問題、住民の健康と医療費、少子化の問題、生涯学習や文化の振興など町がかかえる課題がある中、行政と地域住民との連携を更に深め、強力な施策を遂行し、町の活性化を図るべきとの結論に至りました。(記 小林)



子育て応援フェスタ



オレンジ・カフェ「いぶき」の様子

産業建設常任委員会

主な質疑

園鳥獣被害防止対策事業のイノシシ・シカの電気柵設置についての効果はどうか。

27年度の被害額は465万円。28年度に設置したイノシシ2000m、シカ30000m及び森林防止柵5箇所を含めて金額は300万円、捕獲頭数は27年度が138頭、28年度が246頭。

園治山林道事業の小切畑ノ内ノ輪線では未舗装区間はどれくらいあるのか。

急勾配のところのみ舗装で全舗装は考えていない。28年度で殆どの急勾配の箇所は終わった。

園海面漁業放流事業について、開始時期とその効果は。

開始時期については不明で、成果について

園門川町産業振興券事業のプレミアム商品券は一人何セットまでか。

昨年1世帯6セットまで。27年度は5万円の限度額。

園観光振興事業の町内観光地清掃業務の委託先と回数や頻度は。

委託先は門川町シルバー人材センター。内容はごみ収集、トイレ清掃、草刈りで、トイレ清掃は小松・丸口・大内原が7〜8月限定で月4回、保井ヶ浜・金磯・遠見山森林公園が年5回、愛宕山児童

公園は月2回、草刈りは遠見山と愛宕山が年1回、乙島が年3回。

園心の杜の遊具で一部傷みがあるようだ。

今年度に塗装工事を予定。またゆるんだワイヤーの張替えもする。

園水道料金の不能欠損の状況として、28年度は対象人数がかなり減少しているが努力の成果か。

毎週水曜日に夜間徴収を実施。また滞納者への説明、給水停止等に力を入れている。

園し尿処理衛生センターの取替修繕費の内容は。

最も金額の大きいものを記載した。故障は何箇所もあり、また複数回数ある。

園衛生費の河川海域水質検査の内容は。

園海域や河川等については延べ38箇所、年10



南ヶ丘・山ノ口線の現地調査



門川高校通線の現地調査

園街区公園及び近隣公園の草刈り業務の回数は。

園町管理の公園は年2回を基本とし、地元管理の場合は樹木の伐採などを含め適宜。

園ETC車載器設置費補助事業の件数はどれくらいか。

28年度は80件、29年度で最後となるが好評である。

園土木総務費の設計業務の残土処理場の場所はどこか。

園候補地を選定するための委託業務。場所は西門川の尾地ヶ谷、大池の鶯ノ巣、中山の西又、中村の霜月田など。

園門川高校通線の交差点設計業務委託については、清水商店側の方か。

園その通り。ただし、信号機は要望しているが次年度以降となる。

(記 菊地)

総務財政常任委員会

「少子高齢化に伴う人口減少社会に対応するための方策について」を目的として、山形県の3市町の施設見学、担当職員などの意見交換を行った。

テーマ

- 子育て環境の充実
地域おこし協力隊
空き家等バンク
定住施策
ふるさと納税等

東根市

子育てしやすい環境充実への取組みを題材に、「ひがしね あそびあランド」を視察。

実情

子育てするなら東根市」を掲げ、20年度から妊産婦の検診費用助成拡充、未就学児の医療費無料、小学生の入院医療費無料を実施。「遊ぶから学ぶ」をコンセプトに「ひがしね あそびあランド」を開



ふわふわドーム(東根市)

設、屋外での遊びを中心に子供たちに学ぶ場を提供。来場者数は年間100万人を越え、市外、県外から6割もの来場者が居るとのこと。

人口減少が著しい山形県内で唯一増加しており、「子育て環境の充実」の大切さは何える。また、若い世代のための企業誘致の必要性も訴えていた。

感想

22年に策定した市の総合計画に掲げる「子育て環境の充実」、「幼児教育・学校教育の充実」、「芸術文化の振興」をしっかりと実現し、人口増につなげていると確信。

朝日町

地域おこし協力隊による担い手人材の確保、地域力の確保、空き家バンク制度の定住施策について視察。

実情

20年に第5次総合発展計画策定、ホームページによる情報発信の強化、協力隊員による人材確保。これまで11人の協力隊員を受け入れ、現在、自治会1人、情報交流推進員1人、移住・推進交流員2人が活動中。隊員は3年後に定住できるよう副業も認め、町のブランド力・イメージの高揚、ふるさと納税品や特産

品のパッケージデザインなども担当している。

すでに協力隊員が起業しており、ゲストハウスの運営もやっています。

空き家バンクについては、21年度に制度要綱を制定、7年経過し現在61件の登録、空き店舗、空き地、農地も対象にしているとのこと。冊子などで移住も含めPRしている。

感想

住民の優しさを感じた。協力隊員への役割担当者のごころ配り、案内にも気を使っていた。

協力隊1号の方もそこに触れて、町内で起業したとのこと。

また、ブランド化推進プロデューサーの起用で、スポーツメーカー「ミズノ」との提携をするなど、専門家の活用で成功している。

天童市

ふるさと納税と空き家対策について、意見交換。

実情

全国でもふるさと納税額が飛躍的に伸びた自治体で、昨年度は33億5千万の納税。推進室があり正職員4人、臨時職員5人。特産品選定、供給量確保、品質の確保、事業所間連携、クレーム処理、「天童らしさ」の



意見交換(天童市)

オリジナリティを掲げ、積極的に推進している。

4年まえから空き家の問題が多くなった。登録制度を設け、空き家対策として、市独自の片付け補助制度、リフォーム等補助制度など制定。

感想

課題やピンチをチャンスに変える。ふるさと納税を市の認知度向上、地産産業振興に活用している。

「まちづくり懇談会」などを開催し、住民の意見を吸い上げている。

(記 米良 格)

お詫びと訂正

号先ありの誤り訂正いたし。151号「東根市」の誤り訂正いたし。12ページ「東根市」の誤り訂正いたし。お詫びいたします。

文教厚生常任委員会

「富山型ティエービスの取り組み」富山県富山市

特定非営利活動法人「このゆびとーまれ」がある富山市は、人口約41万9000人で今回の視察調査の目的である年齢や障がいの有無にかかわらず、誰もが一緒に身近な地域で、受けられる共生型ティエービスの取り組みについて、開所者の惣万佳代子氏から説明を受ける。



このゆびとーまれ

視察調査の内容

施設については、天井を高く、天窓を付け柱やテーブルなどの面取り、床のバリアフリー、畳と板張り、ドアや戸が全て外され部屋の全体がよく見渡せ、安全への配慮が行き届いている。

施設の補助については、新築の場合は、県・市から各400万円、改装の場合は、県・市から各200万円の補助がある。

ボランティアを含む職員の育成は、介護の魅力を分かってもらうために、一人を何人かで育てていく体制にしている。

ヘルパーの問題については、現在のヘルパーの平均年齢は65歳ぐらいで、今後、高齢化が進むと10年後には、働き手がいなくなるおそれがある。



施設内での説明の様子

施設の介護環境については、利用者と施設側の他に利用者の家族や地域の方などの第三者の目が必要である。そのことによって、施設の介護の質の低下や閉鎖的になることなどを防ぐことができる。

職員の給料については、年収約450万〜550万円。処遇改善は、3カ月に一度、年4回行われている。

「キャリア教育の取組み」新潟県田上町

田上町は、新潟市の南東部に位置し、人口1万2063人の町で特産品は梅、たけのこなどである。観光スポットとして、湯田上温泉などがあり、年間の観光客数は40万人台を推移している。

キャリア教育の特徴

田上町では、幼児期からの12カ年をキャリア教育として、子ども達の自立に向けた取り組み、あるいは子ども達の巣立ちを促す取り組みと表現し、園、小学校、中学校のそれぞれの時期にあった自立・巣立ちの取り組みを学校、家庭、地域で行っている。

主な取り組み

園では、5歳児が小学校入学のときの負担



田上町役場 会議室

地域でできるキャリア教育として、小・中学生が、夏祭りに参加し、小学生は、会場のゴミ拾いなどのボランティア活動を行う。中学生は、会場の設営に関わり、貴重な体験と大人から褒められることで、自分が人のために役立つという意識や自分の役割を果たしている能力が育てられている。

中学2年生では、生徒の目線で田上町のどこを改善すれば、より住みよい町となるのかをテーマに調査し、結果を町民に知らせる。この取り組みで、生徒たちの田上町に対する意識は「田上町に住みたい」が、学習前は34%だったものが、学習後には48%に、「田上町に住みたくない」が、学習前は62%が、学習後には45%に下がっており、生徒たちが田上町を知ることで、地元の良いが見えてきたのではないかと分析している。

職場体験学習では、地域コーディネーターの配慮で、地元の事業所だけの受け入れが可能となり、今年も、中学2年生の94名全員が町内で職場体験をすることができ、将来の職業などを考えるきっかけになる。

(記 小林)

産業建設常任委員会

平成29年7月11日、13日の三日間、長野県塩尻市(有害鳥獣対策)と白馬村(農業の6次産業化)の視察調査を行った。

塩尻市

塩尻市は長野県中部に位置し面積290.18km、人口約6万7千人。野菜と果樹の生産団地が整備されブドウを原料としたワイン製造は地場産業として注目されている。

視察のテーマはICT活用による有害鳥獣対策であるが、事業開始のきっかけは防災減災の観点から総務省の交付金事業、ICTまちづくり事業『センサーネットワークによる減災情報提供事業』のモデル事業認定を受けたのが導入するきっかけとなった。土石流情報、水位情報等の情報をクラウドに蓄積し、

その情報を元に危険を予知する精度を高めるというものであり、その機能を応用しての子どもの見守り、老人の徘徊、市内循環バス情報、鳥獣害情報を市民あるいは関係者に提供する事で緊急時には判りやすい情報伝達を行い、平時には生活情報や観光情報を提供し、使い慣れた機器の取扱が出来るように配慮しているという説明であった。

有害鳥獣対策についてはセンサー設置後の成果の説明を受けた。このシステム導入の結果、鳥獣の迅速な追い払いや捕獲が可能かつ効率的に発揮され、北小野上田地域でセンサーネットワークによる鳥獣被害対策の取組を行った。23年度に27haの耕作面積のうち85%が鳥獣被害に遭い農業収入が激減していたと



塩尻市役所で説明を受ける

ころ、24年度の取組において耕作面積の被害が20%に激減し、大幅な収入増加をもたらした。

25年度も継続したところ耕作地における鳥獣被害はゼロとなり、23年度に比べ収入を6.5倍に増やすことが出来た。

白馬村

白馬村は長野県の北西部に位置し面積189.36km、人口約8千800人。北アルプスの麓にあり夏は登山、冬はスキーの観光客が訪れ長野オリンピックの会場となった。

視察先は(有)ティエムで、ここは農業の6次産業化を目指し、白馬村の景観を守り、白馬の「おいしい」と安心安全を届け、農業技術を磨き生産性を向上させ、直接消費者に届けたいを理念に、平成16年に設立され水稲、そば、大豆、野菜、ブルーベリーを栽培している農業法人である。

現在、この農業法人が取り扱う耕作面積の割合は、村全体の21%水稲面積では15%となっている。

GAP制度農業において、食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取



(有)ティエムの倉庫で説明を受ける

組の導入することと組織の改革、生産管理を行い、また認証制度の取得情報の発信を効率的に行って、修学旅行の誘致等も取り入れている。

農業をビジネスとして割り切り、作ることより販売することにこだわり、消費者が求めているものを生産するという、6次産業化を目指している。さらに農場を訪れる関係者が一様に驚くのは、働く人たちの平均年齢が30歳という若者たちである。雪山を愛する彼らは、夏場農業をして2mの積雪で農業ができない冬場は山に行く。そういう「雪山」という共通項が若者のチームワークをリンクさせているということであった。現在は山岳パトロールで働く者もいる。農業に魅力を感じながら、自分の趣味も楽しむ若者の意識を融合させる経営感覚には一考させられるものがあった。

(記 菊地)



神崎 千香子

不祥事への対策は

町長 公金管理体制を強化

町長 西門川小中学校 廃校問題

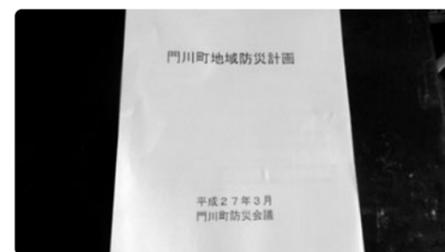


西門川小中学校運動会

町長 西門川小中学校 廃校問題

新庁舎問題

町長 西門川小中学校 廃校問題



門川町地域防災計画

町長 西門川小中学校 廃校問題

町長 西門川小中学校 廃校問題

尾末漁業集落の整備について

内山田 善信

町長 長期財政計画を踏まえて判断する

町長 西門川小中学校 廃校問題

町長

町長 西門川小中学校 廃校問題



町長 西門川小中学校 廃校問題

建設課長

町長 西門川小中学校 廃校問題

町長

町長 西門川小中学校 廃校問題

不祥事再発防止

町長 西門川小中学校 廃校問題

町長

町長 西門川小中学校 廃校問題



漁業集落地



会計管理者

町長 西門川小中学校 廃校問題



米良 昭平

国道388号の改良は

町長 今後も要望を継続する

町長 五十鈴・小園間の今後の見通しは

この路線全体の改良率は52・6%。門川区間は、54・8%となっている。

町も、毎年の要望活動を展開しており、8月24日も県土整備部および県議会に要望した。

他の未改良区間と比較し、国道10号からの進入口であり、交通量の多さや、沿線住民の安全性の確保などを訴え、早期の事業着手を積極的に県に要望していく。

建設課長

現在整備中の工区は5箇所あり、今年度で事業完了の予定箇所もあると聞いている。沿線集落の発展への期待を肝に銘じ、早期着手に向け努力していく。



国道388号 五十鈴地区

高齢者クラブ支援の現状と今後の方針は

町クラブに入会すると、地域や社会の情報も取れ、行事参加で、まだまだやれていると喜びが感じられる。

今年の70歳以上は4018人。クラブ数は21、会員は767人。高齢者クラブの拡大と健康維持を願っている。

町長

現在は、クラブ連合会への補助金交付や移動の際のバスの手配など、運営に対して支援

している。「地域共存社会」を目指すには、高齢者の経験や知恵が有効。今後も変わらぬ支援を続けていく。

町長 高齢者クラブの適正な加入率は

加入率は100%が望ましいが現在は25%程度。

住み慣れた地域でいつまでも暮らせる環境づくりに努めている。高齢者クラブに限定せず、少人数の集いの場も合わせて居場所づくりを検討したい。



高齢者クラブ大会(城屋敷高齢者クラブ)

9月定例会 表決表

各議員の審査結果 (○:賛成、●:反対、退:退席、一:議長)

議案	米良	岩佐	菊地	請関	安藤	黒木	水永	小林	内山	神崎	安田	米良	森川	森
(全員賛成の議案は除きます。)	格	一	治	人	松	裕	継	彦	信	子	明	昭平	春夫	誠一
全国森林環境税(仮称)の創設に関する意見書	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	一
町立学校設置条例の一部改正	○	●	○	○	○	●	●	○	○	●	○	●	○	一
栄ヶ丘団地町営住宅(D棟)建築主体工事請負契約	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	退
29年度一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
28年度一般会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一

安藤 福松

町政運営の継続について

町長 全力で町政発展に挑戦

町長 平成26年4月、この任を拝命し3年と4カ月が過ぎ、1期の経験と人脈を活かしながら、「更なる前進、もつと前へ」と心に決め、今日まで一日一日を大切にしながら誠心誠意努めてきた。大災害にそなえ、防災行政無線の整備、小学校校舎屋上に避難場所の整備、中央公民館の改修など災害に強い町づくりに取り組んできた。

また、これからのリーダー育成の場として

の「かどがわ創生館」の開講や門川魅力発見事業、まち・ひと・しごと創生事業は、本町発展の礎となっていくと思ふ。これからも効率的で質の高い行政サービスの提供を行い、先人たちの偉業に感謝し、町政をもつと前進ができるよう町発展のために何事にも全力で挑戦していく覚悟である。



町制施行80周年記念式典

こんなことが決まりました

条例の改正

町立学校設置条例の一部改正
西門川小学校および西門川中学校を平成32年3月31日をもって閉校するもの。
西門川小は五十鈴小学校へ、西門川中は門川中学校へそれぞれ統合される。

(可決・賛成多数)

契約

栄ヶ丘団地町営住宅D棟建築主体工事請負契約
予定価格5千万円以上の請負契約で、議会の議決を求めるもの。
入札方法 5社の指名競争入札
契約者 上田・森建設共同企業体
契約金額 3億4560万円
規模 鉄筋コンクリート造5階建

(可決・賛成多数)

意見書

全国森林環境税(仮称)の創設に関する意見書
山村地域を有する市町村の森林吸収源対策や担い手の育成などの取り組みは、地球温暖化防止のみならず、国土の保全や地方創生等にもつながるもので、その財源強化のため、導入を求めるもの。

(採択・賛成多数)

人事案件

教育委員会委員の任命

現委員1人が、本年9月30日で任期満了となるので、次期委員の任命について、議会に同意を求めるもの。

次期委員(再任)

金丸正文氏(加草在住)
(同意・全員賛成)

地方財政の充実・強化を求める意見書

平成30年度の地方財政予算全体の安定確保にむけて、政府に対策を求めるもの。
(採択・賛成多数)



シリーズ

地域の力特集

『ひぐらし会』

上井野地域活性化ビジョン団体
(メンバー12人)

代表者は猪倉富美子さんです。

どんな団体ですか。

カラオケ会のメンバーで結成しています。

活動内容は。

- ・カラオケを月2回、第2・第4金曜日に午後7時から10時まで。
- ・12月にイルミネーションを設置。
- ・上井野地区で行われる各種行事等に参加しています。

どこで。

カラオケは、西門川活性化センター内で、イルミネーションは今年、西門川公民館周辺で行います。(昨年は活性化センター周辺で行いました。)

活動のきっかけは。

地域の人との親睦を図ろうとカラオケ好きが集まり、始まりました。

イルミネーションは、地域を明るくして、喜んでもらう為に始めました。

“ひぐらし会”のアピールも兼ねています。

アピールをどうぞ。

カラオケ参加大歓迎。ワンコイン(500円、お茶、お菓子付き)持って遊びに来てください。和気あいあいのあっという間の3時間です。

今年もイルミネーションをします。昨年よりも素晴らしいものにします。お楽しみに。

(編 森川)



昨年のイルミネーション



イルミネーションの準備

議場に来てみらんね

9月議会には41の方に傍聴いただきました。次回の定例会は12月です。心よりお待ちしております。

お問い合わせ：議会事務局
TEL 63-1140 (内線271)

編集後記

彼岸も過ぎ、朝晩やや冷え込みを感じる今日この頃です。

今定例会では28年度決算、本年度補正予算など、本町予算が適切に運用されていることを確認し、議決いたしました。

また、「西門川小中学校」統廃合に関する議案では、教育長、執行部に対する幾多の質疑、討論などを経て、苦渋の選択の末、31年度末統廃合が決定いたしました。

地区の活性化の重要性が問われていることが、浮き彫りになりました。

10、11月には町内イベントなどが目白押しです。私たちも参加します。

「住民参加のまちづくり」を目指し、皆さんで盛り上げましょう。

(記 米良 格)

議会広報編集特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 森川 春夫 |
| 副委員長 | 米良 格 |
| 委員 | 小林 芳彦 |
| 委員 | 菊地 稿治 |

■ 発行者／門川町議会議長 森 誠一

■ 編集／議会広報編集特別委員会

〒889-0696

宮崎県門川町本町1丁目1番地

TEL(0982) 63-1140

印刷／有限会社 第一印刷

